白萩

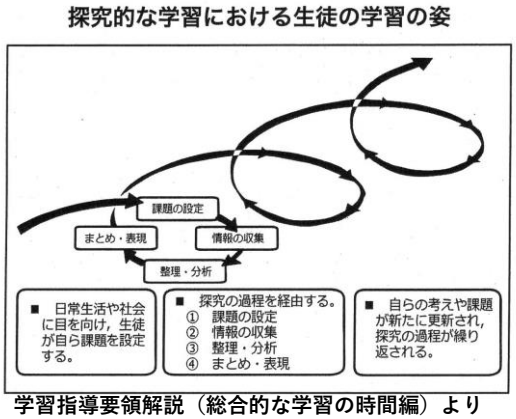
学校だより「しらはぎ」
１２月号
あきる野市立増戸中学校
編集：副校長　宮下　茂樹

探究的な学習を深めて

校長　木　下　美　彦

河川は小さな流れが集まり、大きな流れとなります。その流れのように中学校時代は、３年間の大河の物語であると思います。毎日の学習や生活を支流であると例えると、卒業までの本流に、様々な勉強を通して流れが合流して大きな川になります。

感染対策をとりながらも、各学年の活動が展開されています。３年間の流れは、「総合的な学習の時間」の学習過程が学校の取り組みとしてわかりやすいです。本校の総合的な学習の時間のテーマは「未来像を描き、協同して実現に向かう人間の育成」です。このテーマが本流であるとすれば、支流は各学年の取り組みは支流にあたります。２学期でいえば１年：福祉・職場体験学習、２年：職場体験学習・スキー教室、３年：修学旅行・進路選択に向けた進路学習について、主に取り組みました。この学習過程は上図にあるような学習の手順を積み上げながら、上昇していくイメージです。また同時に各学年では下記のような能力を身に付けたいと考え、指導しています。



学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）より

１年…「自己探究」自己と自己を取り巻く社会を見つめ、現在や将来について真剣に考え、生きがいのある生活を実現していこうとする態度、能力を養う。
２年…「自己開拓」自己学習力や問題解決力の育成を図りながら、体験学習を通じ、自己や社会についての課題を自ら見つけ、主体的に調べ、発表する態度、能力を養う。
３年…「自己実現」これまでに養われた能力をもとにして、自己の進路希望実現に向け、進路探究学習を深め、コミュニケーション能力と自己実現能力を養う。

体験学習が制限・中止される中、上図にあるようなプロセスを大事にしながら、生徒の資質能力向上に努めています。探究的な学習過程を経ながら、各教科等で学んだ力を使い、横断的・総合的な力を駆使し各自の課題に取り組み、生徒は総合学習のテーマに迫っています。

大河に乗り、大海原に乗り出す力を身に付けることを期待します。大河物語が進行中です。

今学期も本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

車椅子体験（１年）

白杖体験（１年）

学校評議員会での授業参観